

先日、恩師主催のオンライン研修会に参加しました。恩師は以前のナイスケア便りでもご紹介しましたが、私が初めて勤めた特別養護老人ホームの施設長をされていたとてもお世話になった方です。88歳になられた現在も大学の教壇に立つなど、コロナ渦でもご活躍をされています。高齢者の老いや生活について長年研究されおり、自身が老いを経験されたことを分析し理論と照らし合わせた話は仕事をする上で大変参考になっています。

今回の研修会で、『老いは、身体的な衰えは止められず、絶望感の中自身で折り合いを付け、人生を歩んでいく』という話がありました。恩師自身が年齢を重ねていくうえで常に思っていることは、『老いても精神的な成長があるということ大切に、日々を過ごす』ということだそうです。身体的に年々衰えても学びを常に意識し、日々考えを巡らせ探求することは、精神的な成長に繋がるとのことです。若い頃に勉強して得た知識による考えよりも、人生の経験を重ねて得た考えの方が向上していると感じた時は、人間として成長を感じるそうです。

近頃は私自身も疲労感が強く、体力の低下が著しく、老眼もひどくなっています。身体的な低下は感じたことはなかったのですが、少しずつですが老いを感じるようになりました。今後の長い人生を考えると、精神的な成長も次の目標していきたいです。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～夏祭り～

お祭りと言えば7月・8月に開催されるイメージがありますが、日本三大祭のひとつに数えられる神田祭・山王祭は5月と6月に開催されます。本祭と陰祭が毎年交互に開催されており、横笛の音色に合わせ神輿を担ぎ、大通りを練り歩く姿に耳を立てては自然と心が躍らせられます。

皆さんがお住いの新宿区には、映画『君の名は』のモチーフになった須賀神社があります。参道から見下ろす風景は映画の描写と重なり、映画を見た方にはぜひ訪れてほしい場所です。

私の地元・山形では、祭囃子に合わせ獅子が舞い踊る『獅子舞い』が夏の風物詩でした。白装束姿の旦那衆が獅子を連れ町内を練り歩き、心と身体を清め祓います。町内を回り終えると奉納する神社へと向かい、境内で大衆に舞いを披露します。

社会情勢の影響から多くのお祭りも規模縮小や開催が見送られているようですが、以前のように安心してお祭りに行けるような日が早く訪れると良いですね。

紺野圭汰